



みこしの山車も登場(上)。子どもたちも頑張った仮装盆踊り。

ふるさとの夏まつり 楽しい真夏のひととき

8月14～15日の2日間にわたり、コスミックホール前を会場にして「ふるさとの夏まつり」が開かれ、大勢の人でにぎわいました。14日の前夜祭では空手や大正琴、ヒップホップなどを披露。15日は正午からゲームや浦幌中学校吹奏楽部の演奏など、縁日の客を楽しませました。また仮装盆踊りでは、きらびやかな衣装の子どもや大人、素踊りの参加者が一緒になって祭りを盛り上げました。

若い世代に伝えたいという森さん。



「戦争体験を伝える」小企画展 一度とくり返さないために

8月8日から22日まで、町立博物館の特別展示コーナーで「戦争体験を伝える」企画展が開かれました。日の丸に書かれた寄せ書きや出征した人からの手紙、米軍の銃撃をあびて16歳で死亡した厚内の林鈴子さんの写真などを展示、戦争の悲惨さを伝えました。13日の「語り部の会」では、緑町の森辰雄さんがサイパンでの戦争体験を語りました。

町生活安全協議会で旗の波作戦 悲惨な交通事故を起こさないで!

7月21日、町生活安全協議会(八木忠宏会長)による旗の波作戦が、東山町の国道38号線で行われました。町内の各事業所や女性ドライバーの会などから約80名が参加し、ドライバーに交通安全を呼びかけました。今年も北海道の交通事故死ワーストワン返上に、町民一体となって貢献しましょう。



通行車両にスピードダウンを啓発。

芝 園児が餅サクシンへお礼 生はとっても気持ちいいよ！

7月19日、しらかば保育園(菊野久子園長、園児34名)の園児が餅サクシン(上谷内信雄代表取締役)を訪れ、6月に寄贈された芝生の上で撮影した写真パネルを贈りました。同社は地域貢献の一貫として、グラウンド約1,113平方メートルを芝生化、日照不足による根腐れで3分の1を張り替えました。上谷内代表取締役は「自然に触れて、はだして元気に遊んで欲しい。」と話しました。同園では9月2日の運動会に芝生を利用した競技も考えています。



園児たちは、「ありがとうございました。元気にお外で遊びます。」とお礼を言いました。

7月26日、教育長室で結果を報告する佐藤君。



自 第24回北海道小学生陸上競技大会 己記録更新でダブル入賞

7月16～17日に室蘭市で開催された北海道小学生陸上大会で、上浦幌中央小学校5年生の佐藤泰隆君が2種目に出場、走幅跳で4 m34cmを跳んで4位、100メートル走は14秒25で5位の好成績を収めました。自己記録を大きく更新しての入賞です。大谷教育長は「大きな大会でベストの記録を出せるのはすばらしいこと」と健闘を称えました。「大会の日は調子もよく、緊張しなかった」という佐藤君。これからの活躍に期待しています。

元 高齢者スポーツ大会 気にハツラツと

8月1日、第33回高齢者スポーツ大会が総合スポーツセンターで開かれ、地域ごとに4チームに別れて、スプーンリレーや玉入れなどを行いました。大会にはしらかば保育園児も参加、あたたかい声援を送っていました。優勝は市街チームでした。



なぜか出るのが一番遠い色ばかり。

和 養護老人ホーム やかに夏まつり

8月7日に養護老人ホームで夏まつりが行われました。チーム対抗の仮装大会では、趣向を凝らして審査員にアピール。屋台などもあり、職員や家族ぐるみで楽しく過ごしました。しらかば保育園の園児たちも、盆踊りや歌を歌って参加してくれました。



装いにも気合いが入ります。

浦 鉾田農業高校農業体験実習 幌での経験生かして

7月27日から8月3日まで茨城県の鉾田農業高校から2名の男子生徒が来町、酪農業の松川拓之さん方でファームステイして北海道の農業を体験しました。同校の生徒を受け入れて今年で13年目。この経験が豊かな人生の糧になるよう、願っています。



実習を終えた飯名君(左)と遠藤君。